

薬剤の使用に際しては、必ず商品の説明書をよく読んで、記載内容に従ってお使いください。  
最新の適用病害虫名・対象作物名については、[メーカーのホームページ](#)をご参照、または、お問い合わせください。  
(こちらに掲載している内容は、2020年5月現在の内容です)

## 適用病害と使用方法

※ 印は収穫物への残留回避のため、本剤及びその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	総使用回数※	使用方法	
はくさい	アオムシ、コナガ、ヨトウムシ  オオタバコガ、シロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウ	2,000倍	100～300ml/平方メートル	発生初期 但し、収穫前日まで	-	散布	
野菜類 (はくさいを除く)		1,000～2,000倍					
うり科野菜類		1,000倍					
パセリ							
いも類、豆類(種実)							
えんどうまめ、さやえんどう、 実えんどう							
ふじまめ							
しょくようほおずき							
果樹類							200～700ml/平方メートル
樹木類							
とうもろこし	100～300ml/平方メートル	発生初期 但し、収穫前日まで					
からしな(種子)							
そば							
あわ、ひえ							
えごま(種子)							
しいたけ			シイタケオオヒロズコガ	200倍			種菌接種前
				1,000倍		害虫発生初期 但し、しいたけ発生の14日前まで	散布
茶	チャノコカクモンハマキ、チャハマキ、ヨモギエダシャク	1,000～2,000倍	200～400ml/平方メートル	発生初期 但し、摘採7日前まで			
きく	ハスモンヨトウ		100～300ml/平方メートル	発生初期			
カーネーション							
ストック							コナガ
芝	スジキリヨトウ、シバツトガ	1,000～2,000倍	300ml/平方メートル				
	タマナヤガ	1,000倍					

## 効果・薬害等の注意

- 石灰硫黄合剤、ボルドー液などの農薬及びアルカリ性の強い葉面散布施用の肥料などとの混用はさけてください。
- はくさいに対しては薬害を生じるおそれがありますので、所定の希釈濃度を厳守してください。
- はくさいに対しては、品種によっては薬害が生じるおそれがありますので、結球期以降の散布は注意してください。
- カーネーションに使用する際は、薬液の付着により葉のワックス層が溶脱する場合がありますので、収穫間際の散布はさけてください。
- 本剤は若令幼虫に有効ですので、若令幼虫期に時期を失しないように散布してください。
- 本剤の所定量に所定量の水を加え、十分かき混ぜて散布液を調製してください。
- 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布してください。
- 使用に当たっては展着剤を加用することが望ましいです。
- 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意してください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所または販売店等と相談することが望ましいです。

## 薬剤の使用に関する注意事項

---

適正かつ安全に使用していただくため基本的な注意事項をご案内します。

[薬剤の使用に関する注意事項](#)